



復活!

なみえ町民号

世界遺産平泉の旅を満喫

11月8日、9日の2日間、専用列車「ジパング」号（4両編成）を利用した「なみえ町民号」は、志戸平温泉（岩手県）と世界遺産平泉（同）を訪れました。

町民号は、昭和46年の第1回が実施されてから26回目の実施。前回の平成17年からは、実に13年ぶりの実施となり、参加した町民77人は、秋深まりゆく「みちのく」を堪能しました。

8日朝、JR浪江駅に集合した参加者は、8時20分に改札口で行われた出発式後、8時45分に町長や駅員に見送られ、浪江駅を専用列車で出発。途中、原ノ町駅、相馬駅、名取駅、仙台駅からも参加する町民が順次乗車し、列車での花巻駅までの旅を、車窓から見える秋の深まりを感じながら、また、被災後初めてお会いできた方と親睦を深めながら楽しみました。

は花巻名産の漬物「金婚漬」の製造工場に立ち寄り、製造工程の説明を受けながら、施設を見学した後、産品を手に取りながら、参加できなかった友人などへのお土産を選んでいました。

その後、宿泊先の志戸平温泉に到着。夜に開かれた交流会では、花巻の伝統である「鹿踊」が披露され、参加した町民による余興もあいまって、町民同士の親睦がより深まりました。

翌9日は、いよいよ世界遺産・平泉。朝からあいにくの雨でしたが、中尊寺金色堂に向かう参道は、木々の葉が雨にぬれ、しっとりりと艶やかな赤色や黄色に染まり、金色堂のまばゆさに劣らない光景を織り成していました。

なみえ町民号は、16時42分に浪江駅に到着。町長の出迎えを受け、解散式の後、参加した町民の皆さんは、旅の思い出を胸に、家路に就きました。



出発式・見送り



鹿踊



平泉中尊寺



金婚漬



交流会

問 生活支援課避難生活支援係 TEL 0243 (62) 0305